

[ヒールメイト]セカンドパートナー実態調査 2024

セカンドパートナーは体の関係あり？なし？ 知らない人が6割！言葉の認知度は？

2024 年、既婚者が一躍「流行語」になった**セカンドパートナー**。

既婚者が配偶者（ファーストパートナー）と別に持つプラトニックな婚外パートナーあるいはその関係をいいます。体の関係がない点が重要であり、その関係は「友達以上、恋人未満」とも呼ばれるのです。最近「プラトニック不倫」という別名も誕生するほど、新しい既婚者の男女関係として注目を浴びています。

しかし、セカンドパートナーという言葉は知っていてもプラトニックな関係と知らない男性が多く、行き違いやトラブルが多発しているようです。実際に「セカンドパートナーでお付き合いしたのに肉体関係を迫られた！」と言う女性の嘆きの声がよく聞かれます。

そこで、[ヒールメイト] セカンドパートナー実態調査では、既婚者におけるセカンドパートナーという言葉の認知度や、言葉を知っている人のうちプラトニックな関係と理解している人の割合を調査しました。

なお、[ヒールメイト] セカンドパートナー調査は、既婚者向けのコミュニティサイト「[ヒールメイト \(Healmate\)](#)」を運営する[レゾンデール株式会社](#)（東京都新宿区）は 15,000 人の既婚者男女を対象に実施したアンケート調査で、セカンドパートナーに関する初の大規模調査になります。

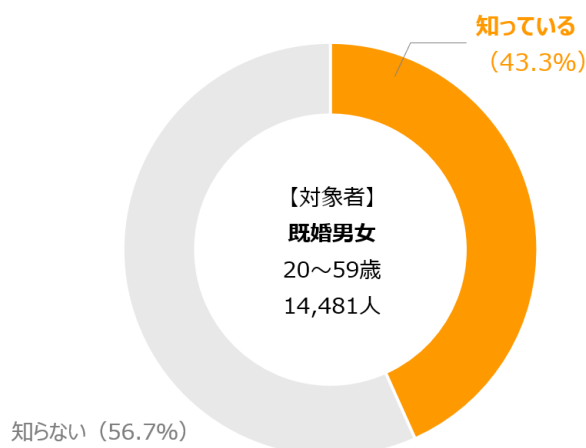
< 注意点 >

- ・ 20～59 歳の既婚者に限定し、男女別の数や年齢層も均衡な対象に行ったインターネット調査です。
調査方法・調査対象等は最後に記載しています。
- ・ セカンドパートナーは現在、既婚者以外の独身カップルにも広がっている様子ですが、今回の調査は本来の意味に則して対象を既婚者に限定しました。

セカンドパートナーという言葉を知っている人の割合は？

実際のところセカンドパートナーという言葉の認知度はどれくらいなのでしょう？ 15,000 人の既婚男女に、「セカンドパートナーという言葉を知っているか」を聞いたところ、次の結果でした。

【全体】セカンドパートナーという言葉を知ってた？

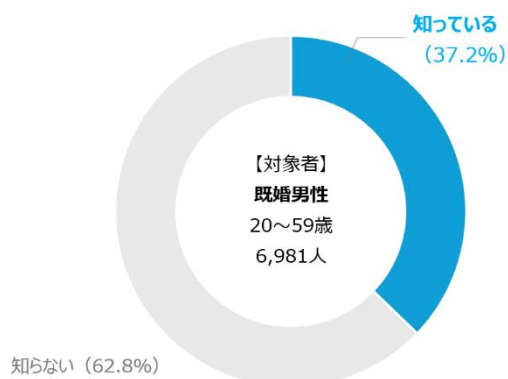


(「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデートル株式会社)

調査対象の全既婚者 14,481 人中、**43.3%にあたる 6,271 人が「知っている」と回答**したのです。20～50 代の幅広い年齢層に尋ねていますから、それなりの認知度でしょう。

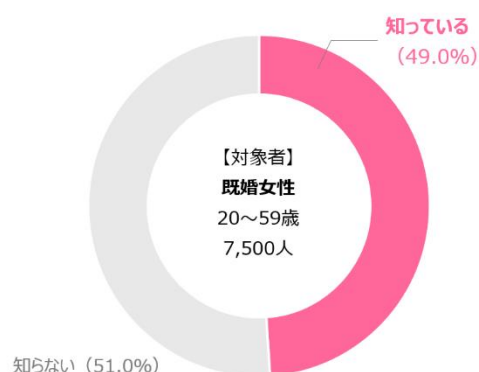
しかし、男女別の結果をみると、女性のほぼ5割が「知っている」と回答したのに対し、男性では6割以上が「知らない」と回答しています。女性に比べて男性の認知度が低くなっているのです。この男女差が誤解や行き違いの原因の1つになっているかもしれません。

【男性】セカンドパートナーという言葉を知ってた？



(「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデートル株式会社)

【女性】セカンドパートナーという言葉を知ってた？

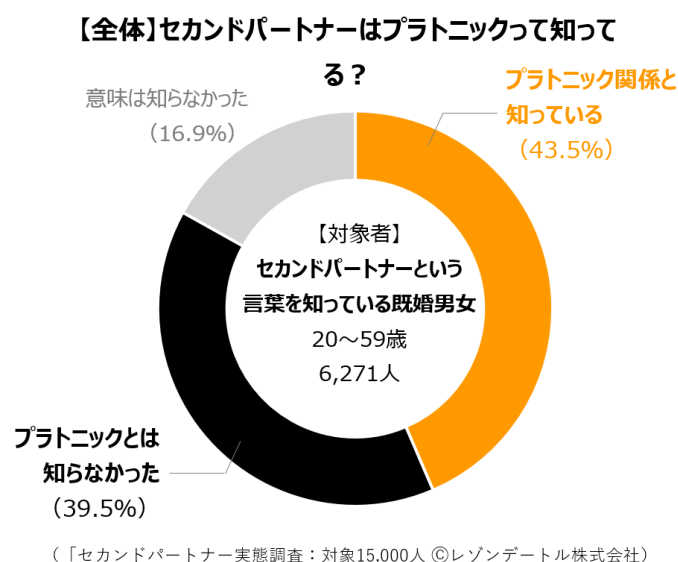


(「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデートル株式会社)

セカンドパートナーがプラトニックと知っている人の割合は？

相手がセカンドパートナーという言葉を知らないだけなら説明すれば済むため、早い段階で意図を説明し誤解を解く機会もあるでしょう。しかし、「セカンドパートナー＝普通の婚外恋愛」などと誤認しているとやっかいです。お付き合いが進んだところで体の関係を求められ、ようやく互いの齟齬に気づくといった、不幸な結果を招くかもしれません。

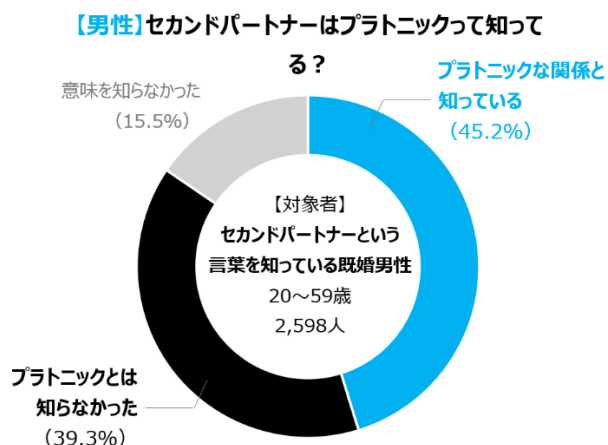
最初の質問で「セカンドパートナーという言葉を知っている」と答えた6,271人に「プラトニックな関係と知っているか」を尋ねたところ、次のグラフの通り**「知っている」と回答した人は43.5%**に止まりました。



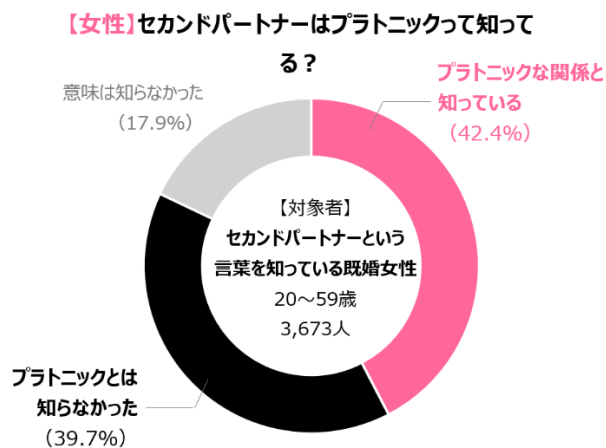
つまり、**約6割の人はセカンドパートナーという言葉を知っていてもプラトニックな関係とは知らない**という結果になったのです。このように誤解が広まっていますから、「セカンドパートナーとして付き合う」と約束をしても、相手の認識を十分に確認する必要があるでしょう。

なお、「意味は知らなかった」には、セカンドパートナーという言葉は知っていても意味までは知らなかった人たちが含まれます。

続いて男女別の回答をみると、セカンドパートナーをプラトニックな関係と知っているかどうかについて大きな男女差はありません。男女ともに誤解が生じないよう注意が必要ということになります。



(「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデートル株式会社)



(「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデートル株式会社)



セカンドパートナー調査 第2報 | まとめ

- セカンドパートナーという言葉を知っている既婚者は約4割以上(男性4割、女性5割)
- 言葉を知っていてもプラトニックな関係とは知らない既婚者が約6割
- セカンドパートナーを探している人は相手が誤解していないか注意！

今回の調査では以上のことが分かりました。[前回の調査](#)では、既婚者のなかでセカンドパートナーがいた人は約5%に過ぎませんでしたが(婚外恋愛の経験者の中では5人に1人程度)、注目される新しい既婚者男女の関係ですから、今後増えていくでしょう。

今回の調査の詳しい報告は「[既婚者の男女関係に関する調査](#)」に掲載予定です。このリリースでは紹介しきれない詳しいデータなども公開します。過去に行った「婚外恋愛」「セックスレス」の調査報告もアップされていますので、ぜひご覧くださいね。

<調査概要>

- ・ 調査タイトル：[ヒールメイト] セカンドパートナー実態調査 第1報
- ・ 調査期間：2024年5月31日～6月5日
- ・ 調査対象者：20～59歳の既婚者 14,481人（男性 6,981人、女性 7,500人）
- ・ 調査方法：インターネット（セルフ型アンケートツール [Freeasy](#) を利用）
- ・ エリア：全国
- ・ 調査機関：レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)
- ・ 調査報告の掲載：<https://healmate.jp/survey/>
- ・ 本報告の発表日：2024年7月5日

<調査対象者について>

下表の通り男女、年齢層ともにほぼ均等なサンプルになっています。

	男性（6,981人）	女性（7,500人）
20代	1,356人（19.4%）	1,875人（25.0%）
30代	1,875人（26.9%）	1,875人（25.0%）
40代	1,875人（26.9%）	1,875人（25.0%）
50代	1,875人（26.9%）	1,875人（25.0%）

回答者は全都道府県に分布しており地域的な偏りはありません。子どもの有無は、子ども有が10,294人（71.1%）、子ども無が4,187人（28.9%）でした。

◎調査の目的

私どもレゾンデートル株式会社は、「結婚後の新たな生き方」を提案する既婚者向けメディアやインターネットサービスの展開を行うシステム開発会社です。現代の夫婦関係のあり方、既婚者の男女関係の多様性を把握し、今後のサービス開発に向けた市場動向を探るため、今回の調査を企画しました。

◎調査内容・本リリースに関するお問い合わせ

今回の調査内容やデータの詳細に関するお問い合わせ、報道関係の皆様取材依頼やお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-3-15 レイフラット新宿 B 棟 3F

問い合わせアドレス：info@healmate.jp

担当：浦野